

編者附書

原書、

アイノ、21-141ノ

満洲事変

治安状況弄停

女匪動靜並討伐弄停

ニ在リ

寫

(分門別類ノ21-141)

普通第七六九號

昭和六年十二月二十四日

在安東領事米澤菊二

外務大臣犬養毅殿

匪賊ノ龍王廟占領ニ伴ヒ大孤山在留民引揚ニ
關スル件

本件ニ關シテハ不取敢拙電ヲ以テ大要報告申進メ置キタル處匪賊團
ハ頭目鄧鐵梅、李子榮、王兆林、劉小鬍等ノ合同約七百名ニシテ我
方討伐隊（守備隊笠森中尉以下六十名警察隊並松警部補以下十名）
ハ十九日午前零時自動車ニテ出發翌二十日午前十時頃黃土坎ニ到着
直ニ龍王廟ニ向ヒタルニ同地南方ニ於テ約三十名ノ匪賊團ヨリ猛烈
ナル射撃ヲ受ケタルヲ以テ之ト交戦忽チ三名ヲ射殺シ多大ノ傷害ヲ
與ヘタル上更ニ龍王廟ニ迫リタルニ賊ハ我方ノ銃火ヲ恐レ全部逃走
シ居リタル爲守備隊ハ一先ツ引揚クルコトトシ同日午後五時黃土坎

外務省

記録件名

5

は(イ)

S 1.1.1.0-8 2220

0213

ヲ出發歸來セルカ警察隊ハ進ンテ大孤山ニ至リ一泊ノ上同地力無警
察状態ニシテ在留邦人ノ危険切迫セルニ鑑ミ直ニ之ニ引揚ヲ命シ翌
二十日十六名（大人男女各五名小供男女各三名）ヲ伴ヒ安東ニ歸還
セリ此等引揚民ハ一先ツ當地ニ於テ夫々知己方ニ寄寓スルコトトナ
レリ
因ニ匪賊團頭目鄧鐵梅ハ龍王廟ニ於テ「平日救國軍」ナル旗ヲ押立
テ一面本月五日附ヲ以テ左記譯文ノ如キ「東北自衛軍通告」ト題ス
ル布告文ヲ發シ居タリ

記

東北自衛軍通告

今次ノ事變發生以來東北ハ匪賊蜂起シテ掠奪ヲ擅ニシ人民ヲシテ水
深火熱ノ不安中ニ坐臥セシム鐵梅ハ東北民衆ノ委托ニ依リ民意ヲ代
表シ今回義ニ依リテ旗ヲ舉ケ中外人民ノ保護治安維持ヲ目的トス凡
ソ東北ノ治安ヲ破壞スル者ハ我軍ノ敵ト見做シ現ニ匪賊ハ本軍ヨリ

外務省

S 1.1.1.0-8 2221

0214

之ヲ招撫收容セリ然シテ本軍ノ收容ニ服セサル者ハ地方ヲ擾害シ掠奪ヲ企圖スルモノトシ嚴重掃蕩ヲ加ヘ東北ノ匪亂ヲ撲滅シ地方ヲ安堵セシメ自衛ノ目的ヲ達セシムルヲ最終ノ目的トス而モ本軍ハ到處紀律嚴正ニシテ若シ妄ニ人民ノ財物ヲ奪取スルモノアル時ハ軍法ニ照シ極刑ニ處スヘシ唯我軍所持ノ銃器ニ就テハ地方富豪紳士ノ誠意アル援助ニ依リ自衛ノ實力ヲ達成セシメンコトヲ希望シテ已マサル者ナリ此旨通知セサランコトヲ恐レ特ニ此ニ通告ス

中華民國二十年十二月五日

鄧 鐵 梅

外 務 省

は(イ)

S 1.1.1.0-8

2222

0215

REEL No. A-0075

アジア歴史資料センター

秘

昭和6

安東

本省

十二月廿八日 前着

五

大森外務大臣

第二三一號

米澤領事

たむらひ

本月廿五日夜半匪賊ノ鳳凰城附近襲撃以來本廿七日迄ニ當地へ避難
シ來レルモノ計一八五名ニシテ内内地人五七名(鳳凰城四五名四臺
子一二名)ハ何レモ知人宅ニ避難シ朝鮮人百三十名(鳳凰城百二名
高麗門二八名)ハ何レモ一先ツ朝鮮人會ニ收容シタリ

尙向方面ハ引續キ不安ノ爲當地へノ避難者今後續出ノ見込ナル處(一
現在四百三十名)收容ノ場所ニ困難ヲ感シ不収收容場ヨリ目下不用
ノ避難舎一棟ヲ借り入レ應急ノ設備ヲ施シル上百名ヲ收容シタル

カ尙不足ノ爲更ニ避難ナル建物物色中ナリ

奉天ハ朝鮮長官ハ朝鮮總督へ電報セリ

電信寫

S 11.1.0-3

2224

S 11.1.0-3

2223

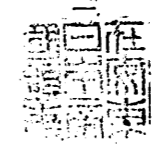
0216

亞細亞類

普通第二號

昭和七年一月四日

在安東領事米澤菊



外務大臣 犬養 毅 殿

避難民ノ衛生状態ニ關スル件

當地避難民ニ對スル健康診斷施行ノ件ニ關シテハ客年十二月二十一日附普通第七五六號拙信ヲ以テ及報告置タル處同月廿四日及三十日ニハ避難民全員（疾患者ヲ除ク）ニ腸窒扶斯ノ豫防注射ヲ施行シ又別ニ同月廿四日及廿六七日ノ二回ニ亙リ健康診斷ヲ爲サシメタルカ

在安東日本領事館

第二號

昭和七年一月八日 接



0217

2225

S 1.1.1.0-8

0218

BII

2226

S 1.1.1.0-8

其ノ狀況別紙ノ通ニシテ衛生状態概シテ良好ナラス此等疾患者ニ對シテハ夫々應急施療中ニシテ殊ニ麻疹患者等ハ之ヲ假隔離病舎ニ收容手當ヲ加ヘシムル等目下衛生施課ニ付テハ銳意手配中ニ付御了知相成度右報告申進ス

本信寫送付先 奉天 朝鮮總督府外事課長

在安東日本領事館

昭和六年十二月廿八日現在安東朝鮮人會收容避難民ノ疾患者調

病名	名員數	病名	名員數	病名	名員數
麻疹	一	風邪	二	安キナ	三
痧氣	一	管炎	二	胃加	一
喘息	二	胃加	八	胃酸多過症	一
耳下線炎	二	腸加	八	腸炎	二
ロイマチス	六	出	一	筋痛	一
目廻化濃	一	神經痛	二	淋病	一
結膜炎	八	トラホーム	一	蓄膿症	一
打撲	一	喉炎	二	股骨部濃症	一
胃潰瘍	一	肺炎	一	耳炎	一
肺加答兒	一	氣管炎	三	胸痛	一
一氣管炎	三	胸痛	一	濕疹	一

計 一〇六名（避難民員數五〇六名）

在安東日本領事館

詳細亞局

機密第七號

昭和七年一月六日

在安東
領事 米澤 菊



外務大臣 犬養毅 殿

警察官派出所巡查引揚後ノ狀況ニ關スル件

鴨綠江下流地方一帶ニ於ケル匪賊ノ跳梁ニ依リ一名乃至二名ノ巡查ニ巡捕一名ヲ配置セルニ過キサレ各地警察官派出所ノ危険増大セルニ鑑ミ渾水泡大東溝接梨樹及大孤山駐在巡查ニ一先ツ安東ヘ引揚ヲ命シタル次第八客年十二月廿四日拙電ノ通ナル處其ノ後同方面ニ於テハ一般支那人ハ移住鮮人ヲ蔑視スルコト甚シク畫間公然鮮人宅ヲ

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8

2228

0220

S 1.1.1.0-8

2227

0219

訪レ農具其ノ他目星シキ家具類等ヲ手當リ次第ニ持去リ之ヲ阻止ス
 レハ直ニ隣人ヲ集メ打擲暴行ヲ加フル外商租地等ニ付テモ種々不利
 ナル難問題ヲ持出ス等横暴ヲ極メ一般移住鮮人ハ甚シク困惑シ居ル
 趣ニシテ過般當館ニ出頭セル朝鮮人會安西支部長ヨリ我官憲ノ保護
 ノ一日モ速カナランコトヲ熱望スル旨續々陳情ノ次第アリタリ
 右ハ事情誠ニ^尤ノ義ナルモ各派出所ニ對シ警察官ノ増派ヲ爲スニ非
 サル限り今直ニ引揚巡查ヲ歸還セシムルコト不可能ノ實情ナル處安
 奉沿線一帶ニ於ケル匪賊ノ跋扈昨今殊ニ甚シキモノアルニ鑑ミ此ノ
 方面警備ノ爲當分前記増派ハ到底困難ト認メラレ旁々差當リハ匪賊
 襲來等ノ際軍隊又ハ警察隊ニ依ル討伐ノ外日常ニ於ケル現地保護ハ
 見込ナキ状態ニ在リ
 右報告申進ス

本信寫送付先 公使 北平 奉天

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8 2229 0221

普通第八號

昭和六年一月六日

在安東
 領事 米澤 菊



外務大臣 犬養 毅 殿

安奉沿線警備ノ充實ニ關スル件

安奉沿線ニ於ケル匪賊ノ横行跋扈ハ屢報ノ通ノ狀況ニシテ鳳凰城其
 ノ他中間驛ノ襲撃電柱ノ切り倒シ電線ノ切斷民家ノ放火等累屢至ラ、
 サルタク之カ警戒及防衛ノ爲警察官ノ増員ト共ニ兵器ノ充實ハ刻々
 其ノ必要ヲ増シツツアリタル次第ナル處今般關東廳ヨリ酒井警部以
 下警官三十名ノ來援ヲ得ルコトトナリ一行ハ三日來安根據地ヲ鷄冠

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8 2230 0222